

# 厳しい時代の今だからこそ ムダとCO<sub>2</sub>をまとめて減らして環境経営

株式会社藤枝農産加工所(静岡県藤枝市)

社名にもあるように静岡県藤枝市で昭和18年の創業以来、地元農産物の加工保存食を製造してきた株式会社藤枝農産加工所。時代の要請に応じ農産物及びフルーツの缶詰を製造してきました。現在は、はごろもフーズ株式会社のOEM商品を中心に生産活動を続けています。同社では、安全面・衛生面への配慮を目的に徹底した品質管理を行っており、「食品の製造に携わっている以上、安全・安心の提供は最重要テーマである」と言い切ります。

年間のクレーム・ゼロを目標に、原料だけでなく製品内部の異物まで検知可能な設備を導入、稼働させながら、最後は従業員の目視でも確認するという、「最新設備と人間の目」の両方で安全対策を取る同社。環境活動も同じように、ヒトとモノとの両面で行っています。新工場の竣工と同時にバイオマス設備による廃液の再利用を開始、CO<sub>2</sub>削減を図る一方で、社員の環境意識を高めながら、身近な省エネ、省資源活動を組み合わせて効果を上げています。

その同社に、エコアクション21取得の契機から、誰にでも真似できるような環境活動の実践について、いろいろと教えていただきました。



代表取締役社長 牧野 恭三

## 契機

### 市の広報活動でエコアクション21を知り、説明会に行ったのがきっかけです

はじめは藤枝市の広報活動で、エコアクション21を知りました。どんなものなのかと興味を持っていたところ、取得のための説明会の案内が届き、参加したのが直接のきっかけです。同業者が規模を縮小、撤退するなど、業界の厳しい時代と重なって、何かを始めるときだったのかもしれない。「ムダを無くせばCO<sub>2</sub>も減らせる」というエコアクション21のわかりやすさ、そして、費用面での負担も軽く、社員の環境意識の醸成、環境教育にも使える。そんなことで、エコアクション21の取得を決め、自治体イニシアティブプログラムを受講して、登録認証にこぎ着けました。

### 社員の気持ちのなかに環境意識を定着させるまで、少し時間がかかりました

「ムダを無くしていこう」というトップの思い、さらに「環境活動は、いずれ本業に返ってくる」という考え方。これらを社員の気持ちの中に染みこませていくのに、思いのほか、時間が掛かってしまったように感じています。それでも、人感センサーを少し工夫して、「人が入る前にスイッチが入り、人が出てから切れる」—そんな“気がつかないうちに節約” “節約を不便に感じさせない” 取り組みと、社員の提案・アイデアを「提案箱」で吸い上げ、良いことはすぐに取り込む“善は急げ”の活動が奏功し、社員の環境意識は確実に向上、定着したように思います。

## 苦労

## 成果

### 「ストップ温暖化」を合い言葉に、社員がひとつになりました

社員の中に、「ムダを省く=もったいない」の意識が生まれ、定着してくれたことが、何よりの成果です。ゴミの9種類分別の徹底、自家用車のアイドリングストップ、小まめな消灯など、全社員が強い意識を持って取り組んでいます。「ストップ温暖化」を合い言葉に、それぞれの立場において、小さなことでも精一杯の努力をする—これが、環境活動を続けていく源泉になっています。

## 株式会社藤枝農産加工所 (代表取締役社長 牧野 恭三)

本社：静岡県藤枝市堀之内825-1

設立：1943年5月

資本金：10,000千円

主要製品：食品製造業（コーン缶詰、フルーツ缶詰、プリン缶詰、惣菜缶詰、レトルトパウチ製品）

EA21認証・登録番号:0009401

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0009401.pdf>をご覧ください)



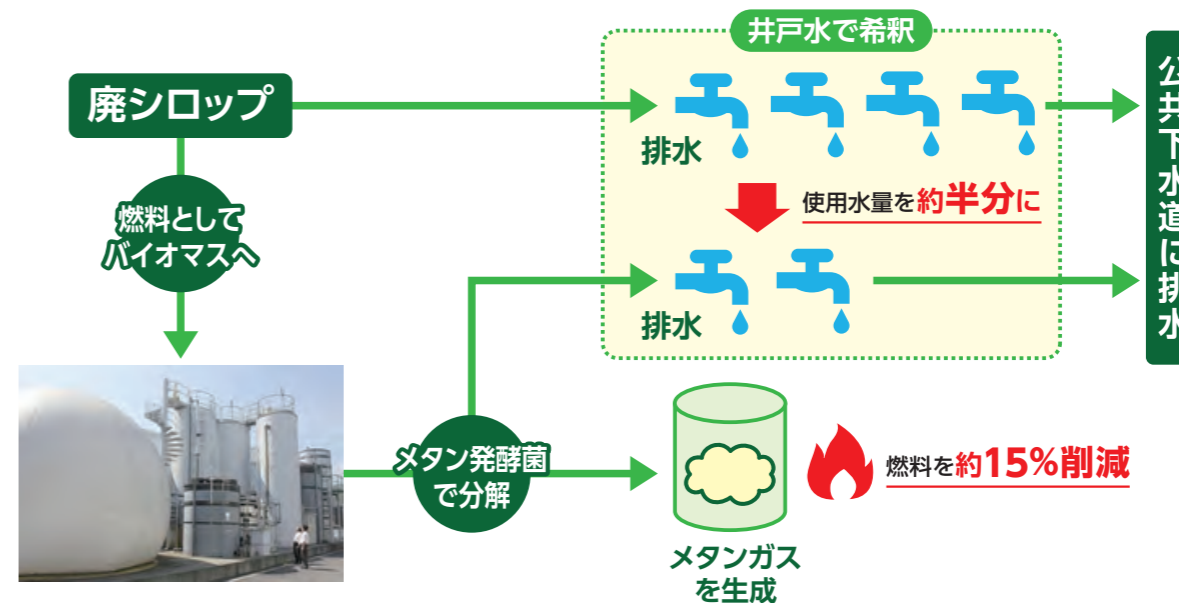
## 環境負荷削減への取り組み

### 工場の屋根を有効活用

新工場では、設計の段階から太陽光パネルの設置を考えていました。竣工後もパネルの増床を続けて、現在では2237枚、総計430kw/hの再生可能エネルギーを生み出し、地域の環境負荷軽減に貢献しています。

### 棄てるから活かすへ

原材料として入庫する大量の缶詰。その中に封入されているシロップは、製造工程で廃棄処分となり、これまでは井戸水で希釈、放流基準値をクリアした状態で排水していました。しかし、地域の環境を考えると「このままではいけない」と、新工場には“バイオマス”設備を導入することに決めました。竣工と同時に稼働を始めたバイオマスで、希釈・排水していたシロップを生産活動に必要なガスエネルギーに変換、活用できるようになりました。同時に、希釈のための井戸水使用量を削減でき、下水道代も大幅に削減できました。



### ゴミを仕分けてお金に換算

工場から排出される食品残渣はもちろん、鉄、ダンボール、ビニール類はすべて分別して再生可能業者に引き取ってもらっています。さらに「お金をもらえる」「お金を払う」とゴミを仕分けて、社員の環境意識と費用感覚を同時に高めています。



### エコ運転のススメ

配送トラックの運転手にエコ運転を奨励しています。燃費が向上したなど、大きなエコ運転が認められたときには「頑張ったで賞」として図書券を配り、ドライバーのエコ運転を促進、相似に経費節減を図っています。

## EA21のいいところ

エコアクション21は、環境活動を「数字」で見えるところ=数字で管理できるところが良いのではないのでしょうか。エコドライブの評価も、燃費など数字の管理があるからこそできることです。省エネについても、電気や水道の使用量はすぐに把握できるものですし、こうした数字の管理をしっかりとっていく、それができるのがエコアクション21のいいところだと思います。